

市税は市民サービスの貴重な財源です

市民の皆さんに納めていただいている市民税や固定資産税、軽自動車税等の「市税」は、福祉や子育て、市道の整備など、さまざまな市民サービスのための貴重な財源です。

「平成30年度（平成29年分）市・県民税申告」に向けて、ご準備をお願いします

平成30年2月16日(金)から3月15日(木)までの間、市内の会場で、申告受付を予定しています。

会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくことがあります。申告相談時間の短縮のために、申告書類の円滑な作成にご協力をお願いします。

・事業所得（農業・漁業・営業・不動産所得等）の収支内訳書は、必ずご自身で作成してご持参ください。作成されていなかった場合、受付ができません。

・医療費控除を申告される場合は、医療を受けた方ごと、病院や薬局ごとに集計した明細書を作成してご持参ください。

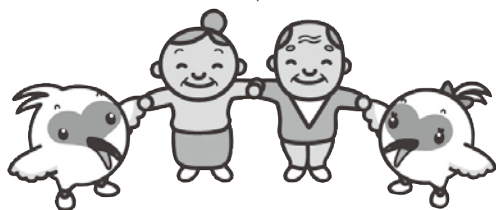
※医療保険者からの医療費通知がある場合は、明細の記入を省略できます。

・国税庁ホームページに「確定申告書等作成コーナー」があります。画面の案内に従って、金額等を入力すれば税額などが自動計算されます。ぜひ、ご利用ください。

問 総務部税務課 市民税係
☎ 63-5110

暮らしを支える大切な市税！

納期限までに納付をお願いします！！



新潟県教育長賞

「僕たちと税」

南佐渡中学校

3年 佐々木悠真



はじまりは弥生時代。平安では荘園、明治には地租改正。そして現代では、さらに進化し幅広い種類がある。遙か昔から国の財政を支えてきたもの。それが「税」だ。

僕は税に対しての関心がほとんどなかった。それは、税が日常生活には無関係の遠い存在だと思っていたからだ。だから、この作文を書くにあたり調べたこと、考えたことで税に対する理解が深まったと思う。

僕は税について考える中、疑問があった。そもそも税とは何か。ラジオやニュースでも税のことを耳にする。が、税の詳細についてはよく知らない。調べてみると、税とは国民がより豊かに安心できる生活を送るための費用だそう。だから、全ての人が年齢も性別も関係なく税金を払っているのだ。

しかし、日本ではその費用を税金だけではまかないきれず、公債という借金をしている。つまり、より効率的に税を集める必要があるのだ。ただ、負担が大きすぎたり、一部の人のだけに負担がかかってもいけない。そこで税には様々な種類がある。特に税収が多いのが、消費税と所得税だ。

消費税は誰もが納めたことのある最も身近な税だ。買い物をするとかか

る税で、税率は8パーセント。一億二千万人が定価百円の品を二つずつ買えば、税収は九億六千万円だ。このように消費税は一人一人への負担が少ないながら、優秀な財源だ。

所得税は税率が六段階にわけられている。所得の多い人、つまりお金持ちほど税率が高い。これは所得の多少を考慮し、生活への負担が大きくなりすぎないための工夫だ。所得税も消費税に並ぶ財源だ。

さて、これらで集まった税は具体的にどのように使われるのだろうか。調べてみると、税は僕たちの暮らしに大きく役立っていることがわかった。身近な例として、教科書がある。教科書は税金によって無償で支給されている。これは、僕たちが将来社会に出て活躍できるようにと、日本中の人が納めた税金が使われているのだ。他にも、医療、福祉の充実、ゴミの処理、年金、除雪、災害の復興など、暮らしに欠かせない事柄にも税金が使われている。

僕が充実した学校生活を送れるのも、日々を健康に安心して暮らせるのも、色んな人が納めた税のおかげだ。僕たちが納めた税は、最終的に様々な役立つ形で僕たちに返ってくる。税はこの国に必要不可欠な存在だ。だからこそ、無駄なく、より役立つ形で使われなければならない。納税者である僕たちも税に対する関心を持ち、税について理解し、税について考えていかなければいけないと思った。